

## 高学年総合

### 「SDGs 持続可能な未来の母子を目指して」

1学期の総合学習では、6年生は、平和学習「母子から平和の願いを届けよう」、5年生は、「SDGs持続可能な自然学校～自然発見・友だち発見・自分発見」をテーマに進めてきました。それぞれのテーマで進めながらも、時には一緒に考え、お互いに協力しながら学習を行いました。

#### 「母子から平和の願いを届けよう」・・・6年生

6年生は、2学期の広島への修学旅行に向けては、戦争や平和について考えていきました。今世界で起きていること、平和って何だろう？をテーマに戦争や平和について、ニュースや新聞、インターネット、教科書、本などを使って調べていきました。

学習の始めには、「平和って何だろう？～ぼくの考える平和～」について右のように考えました。

自分たちが当たり前と思っている普段の生活が、戦争によって全てなくなってしまうことのおかしさに気づき、およそ77年前にあった戦争について、当時小学校1年生だった母子神楽の先生にインタビューすることになりました。

#### 神楽の先生の戦争体験

戦争中、学校の運動場は、開墾して畑になったそうです。小学校1年生でも畑作りをしたそうです。畑にはさつまいもやかぼちゃなどを植えました。さつまいもはふかして食べたそうです。炭焼きのために山に木を集めにいくこともありました。また、竹やりの訓練もありました。篠山から母子への道は、兵隊さんが作ったということを知って驚いてました。母子には敵の飛行機があまり飛んでこなかったのが防空壕はなかったそうです。

身近な方の戦争体験を聞くことであらためて平和の大切さを母子のみんなに伝えたいという気持ちが大きくなりました。

#### ～ぼくの考える平和～

- ・優しい気持ちでいられること
- ・友だちといっぱい遊べること
- ・家族でご飯を食べること
- ・みんなで学校に行ってしゃべったり、勉強をしたりすること。
- ・川でいろいろな魚を見つけること。
- ・ゆっくりお風呂に入ったり、ねたりすること。



戦争は、全部うばってしまう。

神楽の先生にインタビュー



#### 折り鶴を届けよう

広島への平和学習では、全校生に「さだ子と千羽づる」のお話を読み聞かせて伝えました。そして、全校生やお家の人に千羽鶴を協力して折ってもらいました。また、百歳体操に来られている方々にも呼びかけて一緒に鶴を折ってもらいました。

<ヒロシマへ>

百歳体操で



修学旅行当日は、「平和の子の像」の前で母子平和宣言を読み上げ、「折り鶴」を歌い平和セレモニーを行いました。そして、最後に千羽鶴をささげることができました。全国の学校から捧げられている折り鶴を見て、平和の思いがつながっていくことの大切さを感じました。



折り鶴を捧げました。

## SDGs持続可能な自然学校 ～自然発見・友だち発見・自分発見～

母子小学校は、小野小学校、志手原小学校の児童と合同で自然学校を行います。今年、右の日程、活動で自然学校を実施しました。

5年生は、初めていく竹野やそこでどんな活動ができるのかインターネット等を活用し調べていくことにしました。そして、母子と、竹野をくらべながら、似ているところや違いなど様々なことを発見するなど、下調べや準備をしっかりと行っていました。

また、6年生に去年の活動の様子を聞きながら他の学校の児童との出会いにもわくわくどきどきの日々でした。

6月に初めて、小野小学校に3校の児童が集まり、対面式を行いました。そして、グループに分かれて藍染体験に挑戦です。藍染に使われる藍は、天然素材から作られる染料であるため、虫などを寄せ付けない防虫効果や、消臭効果、染色をすることで生地糸を強固にする効果などがあることが、古くから愛されてきたこととつながっています。まさに長く丈夫に着られる藍染Tシャツは、「SDGsだな。」と子どもたちは、感じ取っていました。出来上がったTシャツを持ち帰った後、みんなで着てファッションショーを楽しんでいました。

その後も、7月には2泊3日で竹野へ出発です。

最初は、緊張していた子どもたちでしたが、他の学校の児童との活動を通して、以前から一緒にいるような雰囲気でもとても仲よくなり、「また、会いたいな。」と、9月の活動が楽しみになりました。

自然学校を通して、新たな発見をたくさんし、成長した子どもたちでした。

6月21日…<小野小学校>

オリエンテーション

藍染体験

7月 6日～ 8日… <豊岡市竹野>

イカの一晩干し、磯釣り、浜遊び

磯観察、スノーケル

<円山川>

カッター、カヌー、カヤック体験

9月 9日… <神戸三田アウトビレッジ TEMIL>

野外炊事 カレー作り



藍染 Tシャツでファッションショー





# ふるさと母子のプロフェッショナル ～母子の達人から学ぼう～

## ○そばを育てよう

昨年そばを育てた高学年からそばの種を引き継ぎ、また神楽の成耕先生にも種をたくさんいただいて今年もそば作りに挑戦しました。成耕先生に、そばを蒔く時期やその植え方などを聞いてさっそく学校の畑にそばの種を蒔きました。そばを蒔く時期はお盆前と聞いたので夏休みの8月8日の朝に畑に集まって種を蒔きました。1年生から畑でいろいろな種類の野菜を育ててきた子どもたちなので鍬を使って耕すのはお手のものでとても上手でした。いただいたそばの種を混ぜながら畑を耕していきました。下の写真は、11月の収穫までの様子です。



① そばの植え方や育て方について教えてもらいました。



② 8月8日  
学校の畑にそばの種を蒔きました。



③ 成長したそばを間引き作業です。



④ 9月には一面に白い花が咲きました。



⑤ 10月下旬刈取りです。



⑥ 刈り取ったそばは、リヤカー2杯分でした。



⑦ 刈取ったそばをしばらく干しておきます。



⑧ 干したそばを棒でたたいてそばの実を落とします。



## ○そば打ちに挑戦!!

今年もそば道場の和田さんに教えていただき、そば打ちに挑戦しました。6年生は、昨年度に引き続き2回目ということもあって見通しを持って作る事ができました。5年生も初めてのそば打ち体験でしたが、和田さんに教わりながらもとても上手に打つ事ができました。そば打ちの後に和田さんにどうしてそば道場をしようと思ったのかなどインタビューをし、そばを打つきっかけやそば道場をすることでたくさんのつながりができたという話に驚いていました。



和田さんに教えていただきながらそば打ち体験!!



和田さんにインタビュー

### <学校でそば打ち体験!!>

収穫したそばを和田さんにそば粉にいただきました。そのそば粉を使って、学校でもう一度そば打ちをしました。今度は高学年が習ってきたことを中学年に教えてあげながらそばを打ちました。出来上がったそばは、みんなでおいしくいただきました。



中学年に教えながらのそば打ち体験。

### <そばで SDGs>

そばがらの使い道を子どもたちが調べると、廃棄されることも多いということを知りました。そこで和田さんにそばがらをいただき、そばがら枕を作りました。ここにも SDGsにつながる道を見つけることができた子どもたちです。

そばがら



まくら作り



そばがら枕完成!!

## ○成果と課題

今年も地域の方々がたくさんお世話になって総合学習を行う事ができました。特に夏休みから3学期までそばについて学習してきましたが、母子にはそば道場の和田さんを始め、神楽の先生、たくさんのプロフェッショナルな方々がおられることで、子どもたちの学習が地域との深いつながりを持って、また安心して進める事ができました。たくさん、教えていただいたり、助けていただいたりしたことに深く感謝します。

子どもたちの学びを深めるために母子のよさについてどんどん調べていくことで新たな視点で、これからも子どもたちと一緒に学び続けていきたいと思ひます。